

たきこども園教育・保育課程

| | | | | | | | | |
|----------------|---|--|---|--------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------------------|--|
| 教育・保育理念 | | 園児一人一人がもつ良さを大きく伸ばす教育及び保育の実践 | | | | | | |
| 教育・保育方針 | | 生きる力の基礎を育む (園児の遊びから生まれる経験や環境への主体的な関わりを通して、豊かで健全なこころと体の育成をめざし、小学校以降の生きる力の基礎を培う。) | | | | | | |
| 教育・保育目標 | | こころ豊かに力いっぱい活動するたきここの育成 | | | | | | |
| めざす園 | | 安全で安心な園 いつも歌声と笑顔があふれている園 園児が全力で遊ぶことのできる園 | | | | | | |
| めざす園児像 | | 友達となかよく活動する子 進んであいさつする子 夢中になって遊ぶ子 | | | | | | |
| 年齢 毎の 目標 | 0歳児 | 愛情豊かな受容により、情緒の安定を図り、人と関わる力の基盤を培う。 | | | | | | |
| | 1歳児 | 園児の生活の安定を図りながら、自分でしようという気持ちを大切にす。 | | | | | | |
| | 2歳児 | 保育者との安定した関わりの中で、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 | | | | | | |
| | 3歳児 | 生活に必要な基本的な生活習慣を身につけ、自分で進んでできるようになる。 | | | | | | |
| | 4歳児 | 様々な活動を通して、日常生活に必要な習慣や態度を身につける。 | | | | | | |
| | 5歳児 | 園生活を楽しみながら主体的に活動する。 | | | | | | |
| 保育内容 | | 年齢 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 |
| 養護 | 生命の維持 | | 生理的欲求の充実を図る。 | 保育教諭との信頼を深め、生活リズムの形成を促す。 | 生活の中で適度な運動と休息を充足する。 | 基本的な生活習慣が身につくようにする。 | 運動と休息のバランスと調和がとれるようにする。 | 健康や安全に関心をもち、生活に必要な習慣を身につける。 |
| | 情緒の安定 | | 応答的な触れ合いを大切にし、スキンシップや言葉がけを十分にし、情緒的な絆の形成を図る。 | スキンシップを十分にとり、人と関わる心地よさや安心感をもつ。 | 自我の育ちへの受容をすることともに個々の気持ちに共感する。 | 主体的な活動を促す環境の中で、興味・関心・意欲を高める。 | 多様な経験をし、自己肯定感を高めると共に、他者を受容する。 | 心身の調和と安定を図り、自信をもつ。 |
| 教育 | 健康 | | 清潔になることの心地よさを感じる。 | 身の回りのことを自分でしようという気持ちをもつ。 | 生活の中で、自分でできたことに喜びを感じる。 | 身の回りを清潔にし、生活に必要な活動を自分でする。 | 生活の仕方を知り、生活の場を整えながら見通しをもって行動する。 | 室内外の危険なものや場所、危険な行動を知り、安全に気を付けて生活する。 |
| | 人間関係 | | 保育教諭との深い関わりによる愛着心の形成を図る。 | 保育教諭や友達に関心をもち、自分から関わろうとする。 | 生活や遊びの中で順番を待つことやルールがあることを知る。 | 友達と簡単なルールのある遊びをする中を学ぶ。 | 友達と遊び、友達の良さに気づき、一緒に活動する楽しさを楽しむ。 | 友達と一緒に行動する中で、協力してやり遂げようとする気持ちをもつ。 |
| | 環境 | | 環境の中で五感を刺激しながら過ごす。 | 好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。 | 様々な自然に触れ、積極的に関わる。 | 身近な動植物に積極的に関わる。 | 身近な素材を使って考えたり試してみたりして工夫しながら遊ぶ。 | 生活や遊びの中で地域に関心をもち、いろいろな人や自然の関わりを楽しむ。 |
| | 言語 | | 保育者との関わりの中で声を出したり喃語を発したりする。 | 話しかけややり取りの中で、声や言葉で気持ちを表そうとする。 | 生活や遊びの中で簡単な言葉でのやり取りを楽しむ。 | 話を聞いたり、自分の思いを話したりしながら言語を豊かにする。 | 保育教諭や友達との会話を楽しみ、相手に伝わるように話す工夫をする。 | 人の話を聞いたり、身近な文字に触れたりして言語への興味を広げる。 |
| | 表現 | | 思いのままの感情を表す。 | いろいろな素材に触れ、感触を楽しみ、音に親しみ、感性を育む。 | 保育者や友達と遊ぶ中で自分なりのイメージをもつ。 | いろいろな素材や用具に親しみ、自分が感じたことや思ったことを様々な方法で表現する。 | 感じたことや考えたことを自分なりに表現する。 | 自分の思いやイメージをダイナミックに表現したり、感動を他者と共有したりする。 |
| 食育 | | 離乳から食べることへ移行し、いろいろな食材や味を覚える。 | 食材に興味や関心をもつ。 | 意欲的に食べようとする。 | みんなで食べることを楽しさを知り、食事のマナーに関心をもつ。 | 食べることにより、すべての命の大切さを知る。また、食事のマナーに気を付けて食べる。 | 自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちをもつ。 | |
| 眼育 | 眠りの大切さを知る。家庭と連携しバランスの良い食事と適度な運動を心がけ、質の良い睡眠がとれるようにする。 | | | | | | | |
| 特色ある保育 | 本物に出会う体験活動を重視し、恵まれた地域の自然や人に触れたり遊んだりする中で、豊かな感性と心を育む。 | | | | | | | |
| 小学校との連携 | 小学校とこども園が一緒になって、「0～12歳の育ち」を意識した緊密な連携を進める。連携推進委員会の設置。 | | | | | | | |
| 地域との連携 | 自治会や地域の諸団体と一緒に「たきっこ」をみんなで育む体制をつくる。園からの情報発信を積極的に行うとともに、行事交流(山ゆりホーム)や地域行事への参加も積極的に行う。 | | | | | | | |
| 異年齢交流 | 小さい子へのいたわりや大きい子へのあこがれの気持ちを育む。 | | | | | | | |